

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業 効果検証一覧

| | 事業名 | 事業内容 | 実績額 | | 実施状況 | | 事業の効果 |
|----|---------------------------------|---|-------------|---------------|--------|----------|--|
| | | | 総事業費 (円) | 交付金充当額 (円) | 事業始期 | 事業終期 | |
| 1 | 神崎町子ども生活支援金支給事業 | 小中学校の休校や保育所の利用自粛により、子どもたちの家庭での生活が長期化することに伴う子育て世帯の家計の負担を軽減する。 | 6,890,000 | 6,390,000 | R2.4.1 | R2.6.30 | コロナ禍での子育て世帯の負担軽減に効果があった。支給対象は18歳未満の689人 |
| 2 | 神崎町新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休業要請等協力金事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により来客の減少・減収が著しい事業者の中にあつて、休業要請等の協力を頂いた事業所に対して協力金を交付する。 | 1,600,000 | 1,500,000 | R2.5.1 | R2.5.31 | 休業要請に応じた町内飲食店に協力金を支給し支援を行った。対象は16事業者 |
| 3 | 神崎町小規模事業者等経営支援給付金事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少により経営状態が悪化している町内に事業所を有する小規模事業者に対して、国・県の交付対象とならない事業者も含め広く事業継続を支援するため給付金を交付する。 | 8,800,000 | 8,800,000 | R2.5.1 | R2.7.31 | 町内の小規模事業者へ給付金を支給し経営支援を行った。対象は88事業者 |
| 4 | 神崎町感染症拡大防止対策事業 | 町内における新型コロナウイルスの感染を防止するため、出来る限りの対策を施す。又、災害時における避難所の感染症対策も施し、町民の安全・安心を守る。 | 23,180,000 | 23,180,000 | R2.4.1 | R3.3.31 | 公共施設を中心に感染症対策を実施し、感染拡大防止に有効であった。 |
| 5 | 神崎町GIGAスクール構想支援事業 | 町内小中学校におけるオンライン学習を実施するための環境整備を行う。 | 53,134,000 | 50,000,000 | R2.6.1 | R3.3.31 | 学校休業時のオンライン学習環境を整備し、学習支援に効果があった。 |
| 6 | 神崎町地域応援商品券事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により停滞する地域経済の活性化を目的とし、町内商店で使用できる商品券を町民に1人15,000円分を配布し、個人消費と地元商店の活性化を図る。 | 79,407,000 | 66,934,000 | R2.9.1 | R3.3.31 | コロナ禍で低迷する地域経済の活性化に有効であった。また、町民の生活支援へも効果があった。 |
| 7 | 神崎町大学生支援給付金 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、アルバイト収入が無くなり、経済的に不安定となり修学の継続に不安を抱いている大学生等に対して、経済的不安を払拭し学業等に適進できるように支援を行う。 | 7,950,000 | 7,750,000 | R2.9.1 | R3.3.31 | コロナ禍で影響を受ける大学生等を支援することで修学継続に有効であった。対象は159人 |
| 8 | 神崎町新生児応援給付金事業 | 子育て支援の町として、特別定額給付金の対象とならなかった、令和2年4月28日以降に町内に生まれた新生児を支援するため、1人10万円の給付を行う。 | 1,600,000 | 1,600,000 | R2.9.1 | R3.3.31 | 子育て世帯の負担軽減に有効であった。対象は16人 |
| 9 | 神崎町長寿御祝い品配布事業 | 新型コロナウイルス感染症対策の為、高齢者の方が外出する機会が減り、自宅でストレスを貯める時間も多くなっている。そういった高齢者に少しでも和んでもらおうと、長寿御祝い品として和菓子を配布し感謝の気持ちを伝えたい。 | 1,910,000 | 1,910,000 | R2.9.1 | R2.10.31 | 感染拡大で影響を受けた高齢者の福祉活動に有効であった。 |
| 10 | 町内循環バス購入事業 | 町内循環バスは、本町の高齢者にとって病院や買い物に行く貴重な交通手段であり、新しい生活様式においても欠かせないものである。当初予算に計上した事業であるが、セパレーターカーテン等のコロナ対策を施した仕様に変更した車両を購入する。 | 4,635,000 | 4,635,000 | R2.7.1 | R3.3.31 | 循環バスの感染対策を行うとともに、運行継続に資した。 |
| 11 | わくわく西の城災害対応事業 | 指定緊急避難場所であるわくわく西の城については、昨年度体育館の耐震補強工事を行い、又新型コロナウイルス感染症対策により各避難所の収容可能人数が少なくなる状況下で、避難所としての需要が増じてきている。有事の際の避難所としての機能を強化する。 | 3,900,000 | 3,900,000 | R2.7.1 | R3.3.31 | 災害時の避難所の感染対策として有効であった。 |
| 12 | 神崎町観光推進事業 | 新型コロナウイルス感染症対策によりイベント等の開催が出来ない状況下であるが、本町は首都圏から近距離であり、また「発酵の里」というキーワードが浸透しつつある為、新しい観光様式と言われる「マイクロツーリズム」に対応できるコンテンツを準備し、コロナ終息後の観光振興を図る。 | 4,392,000 | 4,392,000 | R2.9.1 | R3.3.31 | 行動制限により打撃を受けた観光事業の振興策として有効であった。 |
| 13 | 神崎町農業用マルチローター導入促進事業 | 神崎町内でも実証実験が行われているスマート農業において、マルチローター(ドローン)の有効性が証明されているが、免許講習受講費用が障壁となり導入促進が進まないため、免許取得費用を助成しスマート農業の推進を図る。 | 525,000 | 525,000 | R2.7.1 | R3.3.31 | スマート農業を推進することで農林水産業の強化に有効であった。 |
| 14 | 神崎町スマート農業推進事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、感染症拡大防止対策を行いつつ、スマート農業の導入により経営継続に向けた農業者の取り組みを支援する。 | 4,000,000 | 4,000,000 | R2.7.1 | R3.3.31 | コロナ禍においてもスマート農業の推進に効果的であった。 |
| 15 | 神崎ふれあいプラザ図書室図書検索システム導入事業 | 新型コロナウイルス感染症対策として、図書室内での感染を防ぐことを目的として、インターネット上で図書室の蔵書を検索できるシステムを導入し、図書室にきた際の図書検索時間の短縮を図る。 | 803,000 | 803,000 | R2.9.1 | R3.3.31 | インターネットでの蔵書検索により、感染防止に有効であった。 |

| | 事業名 | 事業内容 | 実績額 | | 実施状況 | | 事業の効果 |
|----|--------------------|---|-------------|---------------|--------|----------|---------------------------------|
| | | | 総事業費 (円) | 交付金充当額 (円) | 事業始期 | 事業終期 | |
| 16 | 修学旅行等の中止に係る費用の支援事業 | 修学旅行等を中止したことにより発生する企画料を支援し、保護者の経済的な負担を軽減する。 | 183,000 | 183,000 | R2.4.1 | R2.12.31 | 修学旅行等の中止により影響を受けた児童生徒の保護者を支援した。 |
| 17 | 子ども・子育て支援交付金 | 新型コロナウイルス感染症対策として、学校の臨時休業時の学童保育所の開設に係る費用に対する支援 | 1,821,000 | 607,000 | R2.4.1 | R3.3.31 | 学童保育所の開設支援に有効であった。 |
| 18 | 学校保健特別対策事業費補助金 | (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) 学校の一斉臨時休業に係る対応、臨時休業からの再開及び学校教育活動の継続等を支援する。 | 5,735,000 | 2,962,000 | R2.4.1 | R3.3.31 | 小中学校の感染対策に有効であった。 |
| 19 | 公立学校情報機器整備費補助金 | 学校からの遠隔学習機の強化として、小・中学校に情報機器を配備する。 | 54,000 | 27,000 | R2.6.1 | R3.3.31 | リモート授業の実施に有効であった。 |
| 20 | 母子保健衛生費補助金 | (乳幼児健康診査個別実施支援事業) 新型コロナウイルス感染症対策として、乳幼児健康診査個別実施に対する支援 | 134,000 | 67,000 | R2.4.1 | R3.3.31 | 乳幼児の個別健診を支援した。 |